

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第二次銚子市しごと・ひと・まち創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

千葉県銚子市

3 地域再生計画の区域

千葉県銚子市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、1965 年の 91,492 人（国勢調査人口）をピークに減少しており、2020 年には 58,431 人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2050 年には総人口が 28,770 人となる見込みである。【人口】

年齢 3 区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14 歳）は 1970 年の 23,496 人から減少の一途をたどっており、2020 年には 4,475 人となる一方、老年人口（65 歳以上）は 1970 年の 7,097 人から 2020 年には 22,145 人と増加の一途をたどっており、少子高齢化が進行している。今後は老年人口も減少に転じることが予想されている。また、生産年齢人口（15～64 歳）も 1975 年の 60,498 人をピークに減少傾向にあり、2020 年には 31,811 人となっている。【年齢 3 区分別の人口】

自然動態をみると、1990 年に死亡数が出生数を上回り、それ以降、出生数は 1991 年の 781 人をピークに減少し、2024 年には 126 人となっている。その一方で、死亡数は 1990 年の 779 人から 2024 年には 997 人と増加傾向となっている。出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲871 人（自然減）となっており、近年は自然減の加速度が増している。【総人口の自然動態】

社会動態をみると、1990 年には転出者（2,447 人）が転入者（1,880 人）を上回る社会減（▲567 人）であり、それ以降も一貫して社会減の傾向が続いている。2024 年の社会増減は▲167 人（社会減）であった。

【総人口の社会動態】

日本全体が「人口減少時代」に突入している中で、銚子市においても近年、人口減少が加速度的に進んでいる。国の長期ビジョンが指摘するように、人口減少がこのまま続けば、将来的には経済規模や医療、福祉、教育、保育、交通、消防、救急などの生活サービスの更なる縮小・低下を招きかねない。今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。【『地域の現状』の原因となる、地域の課題】

本市は古くから、水運、漁業、醤油醸造業等により、たくさんの働く場所が創られ、その仕事を求めて人が集まり、まちが形づくられてきた。この歴史的な蓄積と伝統は、本市の貴重な財産である。本市が、将来にわたって人口の減少と地域経済の縮小を克服するためには、多種多様で豊富な地域資源を活かしながら、地域内の産業を活性化し、仕事を創り出す以外に選択肢はない。

「働く場所があつてこそ、人が集まり、まちが創られる。」という考えのもと、次の4つの基本目標を掲げ、まずは若者が求める「しごとづくり」を第一の目標とし、併せて関連する「ひとづくり」、「まちづくり」の施策を推進することにより、「しごと」がひとを呼び、「ひと」がまちを創る、そして「まち」にまた新たなしごとが生まれる好循環を目指す。

- ・基本目標1 稼げる地域をつくり、安心して働けるようにする
- ・基本目標2 新しいつながりを築き、ひとの流れをつくる
- ・基本目標3 若い世代の希望をかなえ、誰もが活躍できるまちをつくる
- ・基本目標4 地域で連携し、安心して魅力的なまちをつくる

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2028年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	有効求人数	714人	750人	基本目標1
ア	納税義務者(所得割)1人 当たりの所得金額	2,957千円	3,149千円	基本目標1

イ	観光入込客数	2,114千人	3,552千人	基本目標 2
イ	関係人口	53,801人	56,491人	基本目標 2
ウ	合計特殊出生率	0.67	1.23	基本目標 3
ウ	老年人口	21,904人	22,000人	基本目標 3
エ	転出超過人数	342人	223人	基本目標 4

※ 観光入込客数・合計特殊出生率・転出超過人数は、暦年で管理し、目標値は 2028 年とする。

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第二次銚子市しごと・ひと・まち創生推進事業

ア 稼げる地域をつくり、安心して働けるようにする事業

イ 新しいつながりを築き、ひとの流れをつくる事業

ウ 若い世代の希望をかなえ、誰もが活躍できるまちをつくる事業

エ 地域で連携し、安心して魅力的なまちをつくる事業

② 事業の内容

ア 稼げる地域をつくり、安心して働けるようにする事業

銚子漁港受入体制の整備、水産物の販路拡大、水産業の人材育成・確保、農産物の販路拡大・6次産業化の推進、農畜産業の人材育成・確保、創業の支援、企業・起業家の誘致、洋上風力発電事業の推進、ゼロカーボンシティの推進、地元企業の人材確保、事業承継の支援、介護人材の育成・確保等、稼げる地域をつくり、安心して働けるようにする事業

イ 新しいつながりを築き、ひとの流れをつくる事業

銚子版DMOによる観光まちづくりの推進、スポーツツーリズムの促進、

観光地としての景観魅力の向上、外国人観光客の誘致促進、長期滞在・交流型ワーケーションの推進、銚子資産を活かした「学び」創出、シティプロモーションの推進、移住・定住の促進、地域おこし協力隊の活用、地域活性化起業人の活用、関係人口の創出・拡大、インターンシップによる人材の活用、ふるさと学習の推進、大学と連携した人材育成等、新しいつながりを築き、ひとの流れをつくる事業

ウ 若い世代の希望をかなえ、誰もが活躍できるまちをつくる事業

子育てサービスの充実、保育所のオンライン化、母子保健相談のオンライン化、若い世代の意見交換の場の創設、結婚新生活の支援、GIGA スクールの推進、市民の健康づくり、地域包括ケアシステムの構築、グローバル人材の育成、外国人住民にも住みやすいまちづくり等、若い世代の希望をかなえ、誰もが活躍できるまちをつくる事業

エ 地域で連携し、安心して魅力的なまちをつくる事業

銚子ジオパークの推進、日本遺産の魅力向上、地域防災の人材確保、危険空家等の除却の促進等、地域で連携し、安心して魅力的なまちをつくる事業

※ なお、詳細は第3期銚子市しごと・ひと・まち創生総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

1,192,000 千円（2025年度～2028年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度8月、外部有識者による施策効果の検証を行い、その結果に基づき必要な改善を事業に反映する。検証結果は、速やかに市ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

2025年4月1日から2029年3月31日まで

6 計画期間

2025年4月1日から2029年3月31日まで